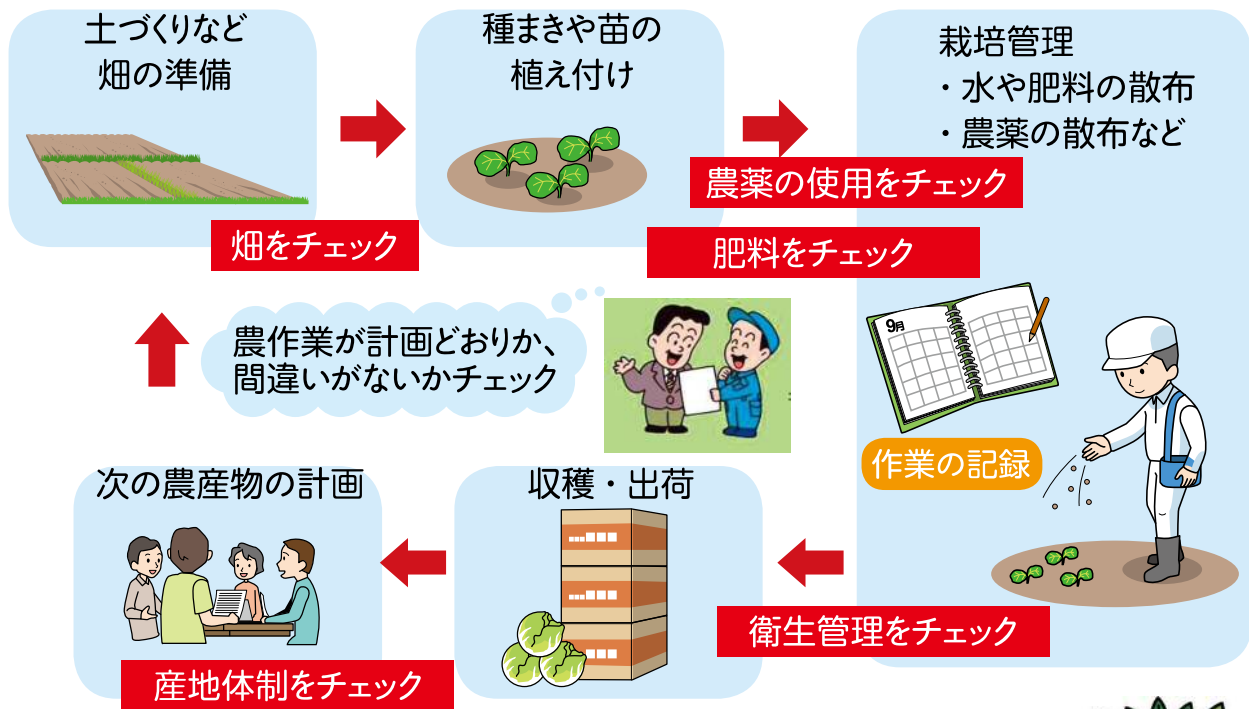




「かごしまの農林水産物認証制度 (K-GAP)」について知ろう

農林水産物の安全性を確保する取組 (ここでは農産物で紹介します)

みなさんが食べる野菜や果物などは、農家（生産者）の方が、作業の計画を立て、土づくりなど畑の準備、種まきや苗の植え付け、農薬や肥料散布などの栽培管理、収穫・出荷を経て、販売されています。農作物を安心・安全につくるためには、計画どおり作業が行われたか、農薬散布などに間違いはなかったかなど、作業の過程ごとに、安心・安全を考えたチェックポイント（基準）を整理して点検することが重要となります。



—農業生産工程管理 (GAP)—

1個1個の農産物を、すべて検査することは困難です。また、検査をしても、例えば残留農薬が検出された場合、作業記録などがなければ、作業の過程のどこに間違いがあったか、原因がわかりません。

そこで、上図のように、作業の計画を立て、生産する過程（工程）において、正確な作業の実施、記録、点検（チェック）を行うことによって、安全性を確保する仕組みがあります。その仕組みを農業生産工程管理 (GAP) といいます。

GAP (ギャップ) の意味は?



GAPとは、適正な農業管理の意味で、
 Good (良い)
 Agricultural (農業の)
 Practice (やり方)
 の頭文字を略して、GAPと呼びます。

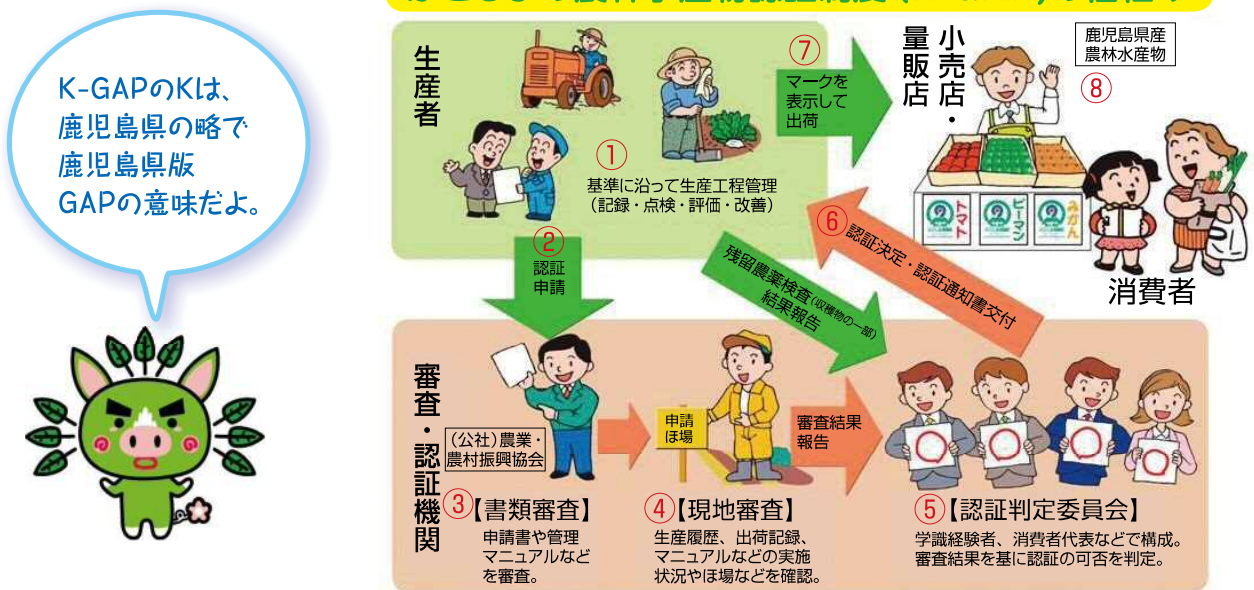


GAPを認証する鹿児島県が作った かごしまの農林水産物認証制度 (K-GAP)

「かごしまの農林水産物認証制度」は、生産者自らが、安心・安全の認証基準項目に沿った作業の実践と記録、記録を基に点検・評価・改善していく取組を外部の機関が審査・認証する鹿児島県独自の制度で、平成16年度からスタートしています。

生産者による自己検査だけでなく、外部の審査を受けることにより、生産者の取組が正しく評価され、安心・安全に対する農林水産物の信頼性がより高まります。

かごしまの農林水産物認証制度 (K-GAP)の仕組み



K-GAPのKは、鹿児島県の略で鹿児島県版GAPの意味だよ。

認証された農林水産物は、認証マークを表示して出荷できます。

私も今度お店で探してみよう。

さくら

K-GAPがひろがるといいね。

ぐりぶー

K-GAPの認証件数

平成29年8月末現在、K-GAPの認証件数は、野菜・果樹・茶をはじめ、卵やきのこ、ブリなど64品目で311件となっています。